

## 令和5年度 緑の詩保育園自己評価

### <園全体の評価>

今年度は、5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症」に移行された事により保護者の室内の入場制限をなくし、いくつかの行事などもコロナ前と同じように戻しました。

昨年度の自己評価で行事によっては、更に子ども達全員が楽しめるようにねらいや内容を検討していくとあったので、年齢に合ったやり方を再検討して（お楽しみ会・作品展）子ども達が楽しめる行事が実施出来たと思います。

また、すすくクラブに来た保護者や子ども、施設外（森の詩幼稚園・ことりの詩保育園・老人ホーム）の職員や園児、施設利用者とかくさんの交流を行い、ゲーム遊びなどを通して様々な年齢の方々と関わる事が出来ました。

保育士体験も再開して、保護者が保育士として子ども達と関わりがクラスの様子や成長を感じてもらえ、保育士がどうに子ども達と関わっているのか、午睡や製作の準備や掃除など他の仕事も見てもらえたのではないかと思います。

食育では、キノコを割いてみたり、玉ねぎの皮を剥いた後に煮て染物をしたり、園庭で出来た柿・きんかん・ピワでジャム作りの体験を行い、子ども達が食に対して興味関心を持てるように出来ました。

毎月行う避難訓練は、午前や午後の決まった時間に行っていましたが、災害はいつ起こるかわからないので、来年度は早朝や夕方など今までやっていない時間帯に避難訓練を行う検討をしたいと思います。

来年度も保護者や施設外の方々と交流を深めながら、子ども達の好奇心を刺激する体験が出来るように、より良い保育を行っていきたくです。